

学校だより

2月号

～ 架け橋 ～

平成26年2月21日
練馬区立開進第四中学校
校長 松丸晴美

「出会い は チャンス」

都内の景色を一変させる記録的な大雪にみまわれた2月8日(土)、車椅子バスケットボールの選手として連続4回パラリンピックに出場した「京谷和幸さん」をお招きして、スポーツ講演会を行いました。



元Jリーグのサッカー選手としてデビューした京谷さんは、その当時の自身のことを「すごく傲慢で自己中心的、周りから見たら嫌なやつだったと思う」と自戒しています。交通事故によって、車椅子での生活を余儀なくされ、絶望のどん底に突き落とされなければこのことに気付くこともなかったと話されていました。

リハビリを重ねる中で、車椅子バスケットボールと出会い、もし選手としてパラリンピックに出場することができたら、サッカーをやっていた頃のような輝きを取り戻せるんじゃないか?そんな思いから、練習を始めたそうです。

「やれば何とかなる」と思って始めた車椅子バスケットボールでしたが、競技用の車椅子の扱いは容易ではなく、激しくぶつかり合う車椅子は火花が飛び散り、一度転倒するとなかなか起き上がれなかったそうです。車輪を回す手の皮は何度もむけ肉が覗き、最後にはかかとのようにカチカチになり、大変つらく幾度もくじけそうになったそうです。しかし、元来の優れた運動神経に加え、まさに血のにじむような練習

を積み重ね、ついには、パラリンピックシドニー大会の代表選手に選ばれました。「そこに至るまでの道のりは決して平坦ではなかったけれど、何より車椅子バスケットボールが好きで、自分の変化が嬉しかった。チャンスがめぐってきた時にこれまでやってきたことを全力で発揮する。そのための土台づくりを積み重ねていくことが大事」「夢を実現した時の姿を想像し、常に良いイメージをもとう。」「出会いは、気づきと学びを与えてくれる。人や文字、出来事など様々な出会いがある。そのチャンスを逃さないようアンテナを張り巡らせよう。」京谷さんのお話は、外の大雪をも溶かしてしまうかのように、熱く、生徒の心に響いたのではないのでしょうか?

今は、サッカーの指導者として、また車椅子バスケットボールの元選手として、2020年に東京で開催されるパラリンピックに向けて新たな夢をもち、実践と勉強を積み重ねているそうです。

講演後の生徒の感想には、「通訳になりたいという夢を最近をあきらめていたけれど、勇気がでた(1年)」「手の皮がむけ肉が見えるなんて・・・自分も部活をさらに頑張ろうと思った(1年)」「部活動でレギュラーを落とされ悩んでいた。1から練習し直したい。そして絶対にレギュラーをつかむ(2年)」「サッカーが上手いかわなくてやめようと思っていた。でも好きだから最後まで頑張りたい(3年)」とありました。生徒達は、京谷さんとの出会いから勇気とやる気をたくさんもらったようです。

「人生とは出会いである。その招待は二度と繰り返されることはない」と語った詩人がいます。一人一人の生徒が、日頃からアンテナを高く張ってより良い出会いとめぐりあい、チャンスを逃さず自分の肥やしにして、成長していくよう願っています。

【練馬区連合書初め展】

◇1月25日(土)・26日(日)に、練馬区美術館で連合書初め展が行われ、1万人近くの来場者がありました。本校からも校内書初め展で選ばれた各学年4名の作品が出品されました。



吉川 雅士 (1A)
石橋 彩愛 (1B)
藤近 尚子 (1B)
鈴木さくら (1D)

藤澤 里音 (2A) 柳 彩芽 (3A)
藤崎 愛海 (2A) 野島 瑞穂 (3B)
高橋 英樹 (2C) 加藤美佐子 (3C)
有江陽大地 (2D) 伊藤 七佳 (3D)

【練馬区連合ダンス発表会】

◇1月28日(火)練馬文化センターで、練馬区連合ダンス発表会が行われました。今年は、2年A組女子が代表として出場し、大きな舞台の上で、自分たちで創作したダンスを披露しました。他校やゲストの二階堂高校ダンス部のすばらしい演技から、テーマに基づいた音楽や振り付け・表現方法など様々なことを学んできました。



【幻の中学生東京駅伝大会】

◇2月9日(日)味の素スタジアムで、23区26市1町から50チーム(中学2年生で編成)が参加した東京駅伝大会が行われる予定でしたが、大雪の影響で中止されました。

本校からも4名の生徒(2A室井戸絵、2B松下明香里、2C福永健悟、2D阿部賢大)が練馬区の代表として選ばれ、練習会や試走会に参加し、本番への闘志を燃やしていました。中止となり大変残念でしたが、今後の競技会での活躍を期待しています。

学校給食運営協議会

◇学校で一番好きな時間は?との問いかけに「給食の時間!」と答える生徒が多いことが予想されるほど、昨今の給食は栄養価に富み、献立の工夫があり、おいしく調理されていると感じます。学校では、年2回の給食試食会の他、年1回給食運営協議会を開いて、区施設給食課職員、調理業務を受託している(株)藤江、PTA代表の参加をいただき、ご意見やご要望を伺いながら、安全で、栄養のバランスがとれたおいしい給食の実現に努めています。

1月22日(水)に実施した協議会では、試食も行い、調理に携わる人の様々なエピソードや生徒の様子などを話題にして意見交換しました。学校HPでも特色ある献立の紹介をしています。時々ご覧いただき、ご家庭でも「今日の給食」を話題にして、お子様との会話がはずめば幸いです。

写真は、19日(食育の日)の給食



ちらし寿司、おからの炒り煮、すまし汁、イチゴ



2年生 スキー移動教室 IN 武石

★2月10日（月）から13日（木）まで、2年生が3泊4日のスキー移動教室に行ってきました。7日（金）から降り続いた雪も止み、晴天の番所ヶ原スキー場は最高のコンディションで私たちを迎えてくれました。宿舎となった武石少年自然の家には「床暖房に温泉、バイキングのおいしい食事」が待っており、4日間を本当に快適に過ごすことができました。

始めは歩くこともままならなかった生徒たちですが、インストラクターの指導で、二日目になるとリフトを使用し、林間コースをゆっくり滑ることができるようになりました。三日目ともなると全ての班が、美しい雪景色を堪能しながらスキーの楽しさを味わうことができましたようです。



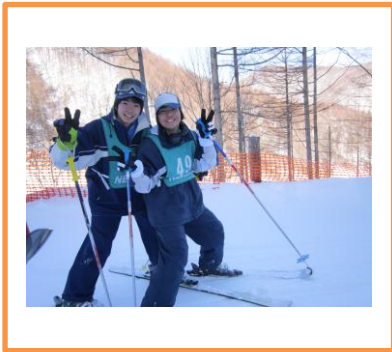
スキー教室開講式、お願いします



インストラクターの先生と一緒に



時にはころぶことも・・・



スキー 最高！



就寝前の室長会



バイキングのおいしい夕食

★宿泊行事のねらいは言うまでもなく、規律ある集団行動のルールやマナーを様々な体験を通して実践的に学ぶところにあります。また、係りなど自分の役割を責任をもって行う、協力し合う、互いに思いやりや感謝の気持ちをもって生活するなど多くの学びが期待できる行事です。

2年生は、スキーの技術の習得に向けて、皆、一生懸命に取り組んでいましたが、何より良かったことは、時間をしっかり意識して自分たちで行動できた点です。あいさつも良かったです。加えて、班長・室長によく協力し、チームワーク良く楽しく過ごせました。しかし、課題もあります。話を聞ける姿勢ができるまでに時間がかかり、先生方から幾度となく注意されました。

4日間の宿泊学習を終えて、成長した点もたくさんありましたが、今後は「自分は、今何をしなければいけない時なのか、場の空気を読み取り考えて行動できる。気付かない人には注意ができる」そのような生徒が増え、質の高い集団行動ができる学年に育ってほしいと願っています。

諸活動の記録

<女子バレーボール部>

練馬区冬季大会 ベスト4

開四中2-0中村中、開四中2-0石神井中、開四中2-0関中、開四中2-0石神井東中

第3ブロック冬季大会

開四中0-2中野七中、開四中0-2文大杉並中

練馬区1年生大会 A・Bゾーン優勝

開四中2-0豊二・学園中、開四中2-0上石神井中、開四中2-0開三中

<陸上部> 第52回東京都中学校ロードレース大会

男子2・3年2km競走 第8位 神谷 尚紀(2A) 7分17秒

男子1年 3km競走 第8位 一戸 凜太郎(1B) 11分01秒

女子2・3年1km競走 第4位 室井 戸絵(2A) 3分36秒

<卓球部> 練馬区中学校学年別卓球研修大会

団体出場 五十嵐拓実(1D)、森吉 亮太(1D)、深澤 達貴(1D)

山瀬 翔太(1D)、橋田 周治(1D)、君塚 昇(1C)

シングルス ベスト32 五十嵐 拓実(1D)

出場 森吉 亮太(1D)、深澤 達貴(1D)、山瀬 翔太(1D)、

橋田 周治(1D)、君塚 昇(1C)

<バドミントン部> 練馬区1年生大会

シングルス ベスト32 金田 妹之(1A)

★大雪の影響で遅れていた改築工事も本格的に始動し始めました。

野球のマウンドの撤去、校庭の備蓄倉庫の移設、そして今は、校舎前にある樹木の移植にとりかかっています。

3月10日からは、現在の校舎前面に建設する仮設校舎工事のための仮囲い工事に入ります。囲いができると、校庭の使用が制限されます。

トラックは150mの大きさです。体育の授業や部活動には支障はありませんが、時々、近隣にある都立城北公園の野球場やグラウンドなどを利用して活動します。

運動会は、平成26年5月18日(日)に都立大山高校の校庭を借りて実施します。

工事は生徒の安全に十分配慮しながら進めます。

